

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2023

成果報告レポート

助成番号 23-2-3

プロジェクト名	入院・療養中の子ども達にICTを使って音楽を届ける活動
団体名	特定非営利活動法人 OnPal
代表者名	真隅 潔
助成額	147 万円
設立年	2013 年
URL	http://onpal.org



(団体について)

設立目的：身近に音楽を楽しむ機会を提供し、音楽が持つエネルギーによって元気を届けて、音楽あふれる心豊かなまちとなることを目的とする。

主要活動：入院中の子ども達に音楽家が「音楽授業」や「コンサート」を届ける活動を行っています
院内学級などの子ども達に、色々な楽器や歌などを教えながら、生の演奏や音楽家とのコミュニケーションなどを通じて、音楽の勉強だけでなく、治療に立ち向かう意欲を高め、感性豊かに成長することを目指しています。

コロナの中でも、YouTube の「おんぱるチャンネル」による音楽動画の配信や、スタジオからのオンラインライブ配信で「音楽授業」や「コンサート」届けるなど、インターネットを活用した活動を展開し、現在は年数回、全国の院内学級にもオンラインで音楽を届けています。

(助成による活動と成果)

1. おんぱるチャンネルの作品制作・配信

2022年度のアンケート調査結果で明確になった2つの役割、①Amusement：演奏家との出会い、音楽を楽しむ機会、②Study：音楽教科書に沿って理解を深める、という目標に沿って、5作品を制作しました。

- ・作品名：「秋の歌」「ホルン音楽授業」「ヴィオラ音楽授業」「子どもの日コンサート」「夏の歌アルバム」
- ・成果：「秋の歌」「夏の歌アルバム」は音楽の授業の素材になる作品が欲しいとの声から制作しました。また、「子どもの日コンサート」は、入院していると季節の行事に参加することもなく季節感がなくなってしまうという意見が多かったことから制作したものです。

2. オンライン音楽授業・コンサート・アート授業の実施

2022年度にスタートしたオンライン配信による活動を定着させ、全国展開を図ることが目標でした。

- ・成果：九州大学病院・福岡市立こども病院 6回
(音楽)「ヴァイオリン音楽授業」「クリスマスコンサート」「オーボエ・ファゴット音楽授業」「鍵盤ハーモニカ音楽授業」
(アート)「クリスマスツリーアート」「花火アート制作」
全国の病院 2回
(音楽)「クリスマスコンサート」「鍵盤ハーモニカ音楽授業」
- ・参加病院：青森県 弘前大学医学部付属病院

茨城県 筑波大学附属病院 茨城県立こども病院 茨城県立こころの医療センター
茨城県立医療大学付属病院

埼玉県 埼玉医科大学国際医療センター

静岡県 静岡県立こども病院 静岡てんかん・神経医療センター

愛知県 あいち小児保健医療総合センター 藤田医科大学病院

福井県 福井大学医学部付属病院

奈良県 奈良県立医科大学附属病院

岡山県 川崎医科大学附属病院

大分県 大分大学医学部附属病院

沖縄県 沖縄県立八重山病院

3) おんばるチャンネルやオンライン授業・コンサートに関する評価アンケート

実施日：3月27日 回答病院数：11病院（アンケート依頼15病院）

内容：

- ①クリスマスコンサートの良かったと思われる点に○をつけてください
- ②入室開始10:30、開始11:00、終了12:00というタイムスケジュールについてどう思われますか
- ③今回のクリスマスコンサートには、10県15か所の院内学級から100名を超える児童が参加されましたが、参加者数についてどう思われますか
- ④ZOOMによるオンライン配信についてはいかがでしたか
- ⑤クリスマスコンサートは次回も参加したいですか
- ⑥次回のオンライン配信は2024年6月に音楽授業「鍵盤ハーモニカ～もっと好きになろう、もっと上手になろう」を予定していますが、参加したいですか
- ⑦OnPalが行うオンライン配信は年に何回程度が適当ですか
- ⑧退院後に自宅療養している児童へのオンライン配信について

（質問1）自宅療養している児童へのオンライン配信は必要（効果的）と思われますか

（質問2）自宅療養している児童への連絡はどの様な方法が考えられますか

- ・結果：プロの音楽家の演奏が効けたことへについては全員が評価していた。
オンライン配信の実施内容についてはいずれも適当、問題ないと回答だった。
オンライン配信の頻度としては年2～3回が適当との回答が多くかった。
自宅への配信については、是非必要が1、できるだけ必要が4、どちらとも言えないが4で、
必要ないと回答はなかった。

また、自由回答では、「プロの演奏を聴ける機会はとても貴重」「子ども達が素晴らしい経験ができる」「大変ありがたい活動」「心がとても安らぎみんな幸せに過ごせた」「子ども達は集中して視聴していた」「音のクオリティが想像以上に高く感動した」「事前準備の素晴らしさに拍手」など、高い評価をいただきました。

（残された課題、新たな課題）

オンライン配信については、全国どこへでも配信できることや、教室だけでなく、病室や自宅療養中でも参加できる強みを生かして、コロナ後もできるだけ多くの院内学級や病気の子ども達に、展開していきたいと考えています。現在、自宅や病室から参加している子ども達は院内学級に所属している子ども達ですが、今後は、それ以外の病気の子ども達にも配信できるようにシステムを検討したいと考えています。

(活動の背景・社会的課題) (団体からのメッセージ)

心と体の成長に最も大切な時期を、入退院を繰り返しながら病院で過ごす子ども達は、学校の友達とのコミュニケーションの機会も限られ、楽しい運動会や遠足などの行事にも参加できません。

OnPa1では、音楽やアートを通じて、子ども達が非日常的なスペシャルな時間を楽しむことで、豊かな感性を育み、また辛い治療に立ち向かう意欲を高めてほしいと考えています。

このことは、本来は病院がもっと真剣に取り組むべき課題だと考えていますが、日本の病院では治療は素晴らしい進歩を見せてているのに反して、心のケアについてはとても遅れていると感じています。また、医療ケア児と呼ばれる重度障がい児への国等の支援体制は立法措置を含め次第に整ってきていますが、小児がん等の入院児童への心のケアは、全国の院内学級を見てもまだまだ遅れていると思います。

そこで、OnPa1では今後も、助成、寄付、協賛など多くの善意をプロの音楽家やアーティストによるボランティア活動に変えて子ども達に届けていきたいと考えています。